

別添資料 14

教員のグレードアップおよび再養成 地域センター表

1 機関

	機関名	地域	養成分野
1	中等専門教育開発研究所 (IDSSVE) 本部および再訓練学部	全国	学校経営、思想・倫理、情報学など

6 地域の7 職業高等学校 (professional college: PC)

	大学名	地域	PC 名	養成分野
1	カラカルパク国立大学	カラカルパキスタン自治共和国、ホレズム州	ヌクス工科 PC	製菓、製パン、めん製造、食品製造機械の維持管理と修理
2	ナマンガン工学教育大学	アンディジャン州、フェルガノ州、	ホジャ工業、通信 PC	縫製工業、金属加工
3	フェルガナ工科大学	ナマンガン州	コーカンドサービス業 PC	外食産業、家電修理
4	ブハラ食品及び軽工業技術大学	ブハラ州、ナボイ州	ブハラ建設公共サービス PC	ガスシステム機材組立修理、送配電網関係機材の構築・組立
5	カルシン技術経済大学	カシュカダリア州、スルハンダリア州	カルシン工科 PC	金属加工、ガス供給システム機材組立・修理
6	サマルカンド国立建築建設大学	サマルカンド州、ジザク州	ウルグート建設および民族工芸 PC	建設仕上げ業、指物、大工、床張
7	タシケント化学技術大学	タシケント州、タシケント市、シルダリヤ州	タシケント技術 PC	製菓、製パン、めん製造、食品製造機械の維持管理と修理

(出所) CSSVE 資料

別添資料 15

CSSVE 年間予算

(単位：千スム)

	1999 年		2000 年		2001 年	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
人件費	6764.0	7464.0	11020.0	11020.0	6807.3	6205.1
奨学金						
児童手当(2歳まで)					115.0	121.9
グループ の合計	6764.0	7464.0	11020.0	11020.0	6922.3	6327.0
雇用主の控除金(積立金)合計	2604.0	2863.0	4365.0	4365.0	2573.9	2464.7
グループ の合計	2604.0	2863.0	4365.0	4365.0	2573.9	2464.7
出張費合計	1990.0	1990.0	4291.5	4291.5	3726.0	3726.0
光熱費						
電気						
天然ガス						
石炭						
給湯と暖房						
水道と下水						
清浄、ゴミ出し、燃料代、その他(ガソリン代除く)						
電話等、通信代	1880.0	4594.0	7724.5	7724.4	1166.0	1166.0
簡単な修理					5204.0	1534.2
建物の維持管理、賃貸料 合計	28326.0	24923.4	45686.0	45686.0	383360.6	335228.9
自動車等乗物の維持、管理、賃貸料						
その他のサービス	5630.0	4983.0	7775.0	7775.0	1336.0	1336.0
ガソリン等			244.0	244.0	954.6	954.6
教育費					20115.0	20115.0
地質調査代						
その他のサービスに対して	22696.0	19940.4	37667.0	37667.0	360955.0	312823.3

機材購入、ランニングコスト 合計	9132.0	9372.0	8342.0	8342.1	710186.0	708186.0
機材、事務機、在庫品、資材 文具等	9132.0	9372.0	5170.0	5170.0	708186.0	708186.0
食料品						
医薬品、包帯等						
衣類、寝具、靴、制服、備品					2000.0	
その他の材料等			3172.0	3172.1		
その他の経費					5500.0	5500.0
助成金 合計						
非国営企業への助成金						
金融機関への助成金						
企業の損失補填への助成金						
その他の企業への助成金						
非営業組織への当座振替						
家計への当座振替						
公共サービス補助						
その他の家計補助						
固定資産購入費		10653.4			994121.0	994121.0
生産部門の大規模修繕						
非生産部門の大規模修繕						
購入						
国家用備蓄品購入						
その他の備蓄品の購入						
土地などの購入						
その他の資本移譲						
グループ の合計	41,328.0	51,532.8	66044.0	66044.0	2103263.6	2049462.1
使わなかった予算						54506.0
合計	50696.0	61859.8	81429.0	81429.0	2112759.8	2112759.8 (2112869)

(出所) CSSVE 資料

(注) 2001 年については表中の数値と合計が合わないため、当方計算による結果をカッコ内に示した。

別添資料 16

PC 教頭（生産実習担当）グレードアップ研修カリキュラム

No.	モジュール	時 間	小（細分化）モジュール
1	思想と啓蒙	24	1. ウズベキスタンにおける民主主義社会建設の理論と実践(6) 2. 民族独立の目的(6) 3. ラテンアルファベット(12) *カッコ内時間数（以下同）
2	経済と法律	12	1. 市場経済の基礎(6) 2. 労働法(6)
3	情報技術（IT）	12	情報学の基礎とコンピュータ作業
4	職業教育における環境保全と労働保護	12	1. 環境のカテゴリーとシステム 2. 職業教育の影響と職業活動 3. 環境産物生産原則 4. 環境カリキュラム教授法 5. 実習棟とラボの廃棄物除去とリサイクル（1.～5.で6時間） 6. 危険度の分類 7. 有害物質の危険度 8. 爆発と火事 9. 電気関係の危険度（6.～9.で6時間）
5	教育課程編成と生産の企画と実施	12	1. テクニカル・クライテリアに基づく実習棟設立組織化とマネジメント 2. 経済的観点に基づく実習棟の設立とマネジメント 3. 環境性に基づく実習棟設立とマネジメント 4. 人間工学の観点からみた実習棟設立（オーガナイズ）とマネジメント 5. 労働安全対策（国内及び国際基準）（1.～5.で12時間）
6	職業教育におけるマネジメントとマーケティング	18	1. マネジメント 2. マーケティング 3. 設計プラン、資材補給計画、資材一覧表 4. 計算法 5. マーケティングの手法（1.～5.で18時間）
7	職業教育の近代的手法	24	1. 実習指導 2. 4段階法 3. 実習におけるプロジェクト・メソッド 4. 実習におけるマニュアル・テキストの方法 5. 自習（1.～5.で24時間）
8	ウズベキスタンにおける職業教育発展の展望	12	1. ウズベキスタン職業教育改編の持つ国家、地域及び国際的意味 2. 新職業の分類と基準化（1.～2.で6時間） 3. 職業分類と労働市場のマッチング 4. 職業教育の文書化とその発達の評価（3.～4.で6時間）
9	意見交換	12	下記1～3についての意見交換： 1. 生産の組織化 2. 受注 3. 見本市の編成（展覧会）
10	校外学習	6	グループ管理

(出所) IDSSVE 資料



**O'ZBEKISTON RESPUBLIKASI OLIY VA O'RTA
MAXSUS TA'LIM VAZIRLIGI 中高等専門教育省
O'RTA MAXSUS, KASB-HUNAR TA'LIMI MARKAZI
中等専門職業教育センター (CSSVE)**

SERTIFIKAT
修了証書

KH № 015494 ❁

O'rta maxsus, kasb – hunar ta'limini rivojlantirish instituti
(universitet, institut nomi) 中等専門教育開発研究所 (IDSSVE)

qoshidagi malaka oshirish va qayta tayyorlash markazida (fakultetida)
再訓練部
受講者名

(ingilichaning familiyasi, ismi va sharaflari)

DIREKTORLAR GURIHI
(ta'lim yo'nalishining nomi) 受講コース

DIREKTOR
(shirkatligi) 受講者の役職

222 soatlik dasturi bo'yicha malakasini oshirgan 履修時間

O'rta maxsus, kasb – hunar ta'limini rivojlantirish instituti
(shu o'quv yilning nomi)

Manzil: 住所
Toshkent shahar

Saidov ko'chasi 76 uy

中等専門教育開発研究所 (IDSSVE)
Rektor **Ikramov A.**


(imzo)

Dekabr 2024
(sana)





10716

別添資料 19

IDSSVE 年間予算

(単位：千スム)

	2000 年		2001 年		2002 年	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
人件費	20465.3	20465.3	30154.8	30154.8	30154.8	-
奨学金	795.5	795.5	1155.7	1155.7	1155.7	-
児童手当(2歳まで)	457.5	457.5	547.2	547.2	547.2	-
グループ の合計	21718.3	21718.3	31857.7	31857.7	31857.7	-
雇用主の控除金(積立金)合計	8226.2	8226.2	12061.6	12061.6	12061.6	-
グループ の合計	8226.2	8226.2	12061.6	12061.6	12061.6	-
出張費合計	8165	8165	30611	24500	30611	-
光熱費	7077	7077	13922	13922	19490.8	-
電気	1890	1890	2783	2783	3896.2	-
天然ガス	210.6	210.6	121	121	169.4	-
石炭						
給湯と暖房	4054.8	4054.8	8067	8067	11293.8	-
水道と下水	700	700	1651	1651	2311.4	-
清浄、ゴミ出し、燃料代、その他(ガソリン代除く)	221.6	221.6	1300	1300	1820	-
電話等、通信代	842	842	1443	1443	7215	-
簡単な修理	1200	1200	6210	4500	13500	-
建物の維持、管理、賃貸料 合計	3166	3166	18091.7	18091.7	98882.6	-
自動車等乗物の維持、管理、賃貸料						
その他のサービス	420	420	1898.7	1898.7	5696	-
ガソリン等	396	396	1142.2	1142.2	3426.6	-
教育費			2976	2976	29760	-
地質調査代						
その他のサービスに対して	2250	2250	12074.8	12074.8	60000	-

機材購入、ランニングコスト 合計	5034	5034	10029	10490.9	99100	-
機材、事務機、在庫品、資材 文具等	2034	2034	5348	5809.9	17000	-
食料品						
医薬品、包帯等						
衣類、寝具、靴、制服、備品	3000	3000	2381	2381	70000	-
その他の材料等			2300	2300	12100	-
その他の経費						
助成金 合計						
非国営企業への助成金						
金融機関への助成金						
企業の損失補填への助成金						
その他の企業への助成金						
非営業組織への当座振替						
家計への当座振替						
公共サービス補助						
その他の家計補助						
固定資産購入費			20450	20000	30000	-
生産部門の大規模修繕						
非生産部門の大規模修繕	15000	15000	24250	20219.7	130000	-
購入						
国家用備蓄品購入						
その他の備蓄品の購入						
土地などの購入						
その他の資本移譲						
グループ の合計	40484	40484	125006.7	113167.3	428799.4	-
使わなかった予算						
合計	70432.5	70432.5	168926	157086.6	472718.7	-

(出所) IDSSVE 資料

Important Questions to be answered by CSSVE

Please answer the questions below in a written form in English by Feb. 4, 2002.

1. What are the criteria of selecting the 7 professional colleges in 6 regions?
- How and why did you select each of them? (PC 7 校の選定基準)
2. How will the 7 PCs differ from the six "O&M professional colleges" that will function as instructor training centers? Have you already submitted a plan for effective utilization of six O & M centers to JBIC? If yes, please submit us a copy.
(JBIC が対象とする 50 校のうち instructor training centers とされた 6 校と上記 PC 7 校との違い)
3. If the equipment donated by Japan is located in the 7 PCs, who will own the equipment? (機材の所有権)
1. CSSVE 2. IDSSVE 3. Upgrade Faculty of University 4. PC
4. If the equipment donated by Japan is located in the 7 PCs, who will be responsible for the maintenance of the equipment and its cost? (機材の維持管理体制)
1. CSSVE 2. IDSSVE 3. Upgrade Faculty of University 4. PC
5. Who will give a theoretical lecture to PC teachers for upgrading at a PC?
1. University professor 2. Other PC teacher (座学の講師)
3. Engineer from factory or kombinat
- Who will pay for the fee to a lecturer?
1. CSSVE 2. IDSSVE 3. PC
6. Who will give hands-on instruction with equipment to PC teacher for upgrading at a PC? (実習の講師)
1. Engineer from factory or kombinat 2. Other PC teacher
3. University professor
- Who will pay for the fee to an instructor?
1. CSSVE 2. IDSSVE 3. PC
7. By the name of whom will the certificate be awarded to trainees who successfully completed an upgrading course? (修了証書の発行機関)
1. Ministry 2. CSSVE 3. IDSSVE 4. Upgrade Faculty of University
5. PC
8. Please submit the list of; (by Feb.1, 2002) (機材リスト)
1) the equipment that each of 7 PCs currently possesses, and
2) the equipment that each of 7 PCs would like to possess for upgrading PC teachers.

Thank you very much.

別添資料 21

ウズベキスタン共和国
Republic of Uzbekistan

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	タシケント (Tashkent) *2
元首	大統領/カリーモフ, イスラム, アブドゥガニエヴィッチ	*1,3	主要都市名	サマルカンド、ブラハ *3
独立年月日	1991年8月31日	*3,4	労働力総計	10,251千人 (1999年) *6
主要民族/部族名	ウズベク人75.8%、ロシア系6.0%、タジク系4.8%	*1,3	義務教育年数	年間 (年) *13
主要言語	ウズベク語	*1,3	初等教育就学率	77.6% (1997年) *6
宗教	ウズベク人の間ではイスラム教スンニ派が優勢	*1,3	中等教育就学率	94.0% (1997年) *6
国連加盟年	1992年3月2日	*12	成人非識字率	% (年) *13
世銀加盟年	1992年9月21日	*7	人口密度	58.92人/km2 (1999年) *6
IMF加盟年	1992年9月21日	*7	人口増加率	2.2% (1980-99年) *6
国土面積	417.40千km2	*1,6	平均寿命	平均 68.70 男 65.80 女 71.70 *10
総人口	24,406千人 (1999年)	*6	5歳児未満死亡率	29 (1999年) *6
			カロリー供給量	2,433.0 cal/日/人 (1997年) *10

経済指標				
通貨単位	スム (Sum)	*3	貿易量	(年)
為替レート	1 US \$ = 693.02 (2002年3月)	*8	商品輸出	百万ドル *15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	百万ドル *15
国家予算	(年)		輸入カバー率	(月) (1999年) *14
歳入総額		*9	主要輸出品目	織物製品、鉱物製品、卑金属 *1
歳出総額		*9	主要輸入品目	機械・設備、植物製品、運輸部品・設備 *1
総合収支	百万ドル (年)	*15	日本への輸出	79百万ドル (2000年) *16
ODA受取額	133.9百万ドル (1999年)	*18	日本からの輸入	25百万ドル (2000年) *16
国内総生産(GDP)	17,704.97百万ドル (1999年)	*6	総国際準備	百万ドル (1999年) *6
一人当たりのGNI	720.0ドル (1999年)	*6	対外債務残高	4,573.0百万ドル (1999年) *6
分野別GDP	農業 32.9% (1999年)	*6	対外債務返済率(DSR)	17.9% (1999年) *6
	鉱工業 24.5% (1999年)	*6	インフレ率	% *6
	サービス業 42.6% (1999年)	*6	(消費者価格物価上昇率)	(1990-99年)
産業別雇用	農業 男 % 女 % (1996-98年)	*6		
	鉱工業 % % (1996-98年)	*6		
	サービス業 % % (1996-98年)	*6	国家開発計画	
実質GDP成長率	-1.2% (1990-99年)	*6		*11

気象 (1961年～1990年平均) 観測地：タシケント (北緯41度16分、東経69度16分、標高428m) *4,5													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
降水量	52.8	46.2	70.6	62.9	31.8	6.8	3.4	1.8	4.0	33.8	43.8	52.1	410.0 mm
平均気温	1.2	2.3	8.6	15.4	20.4	25.6	27.6	25.3	20.0	13.3	7.5	3.2	14.2 °C

- *1 各国概況 (外務省)
- *2 世界の国々一覧表 (外務省)
- *3 世界年鑑2000 (共同通信社)
- *4 最新世界各国要覧10訂版 (東京書籍)
- *5 理科年表2000 (国立天文台編)
- *6 World Development Indicators2001(WB)
- *7 BRD Membership List(WB)
- IMF Members' Financial Data by Country(IMF)
- *8 Universal Currency Converter

- *9 Government Finance Statistics Yearbook 2000 (IMF)
 - *10 Human Development Report2000,2001(UNDP)
 - *11 Country Profile(EIU),外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)
 - *14 Global Development Finance2001(WB)
 - *15 International Financial Statistics Yearbook 2001(IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル2001(世界経済情報サービス)
- 注：商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる

	ウズベキスタン共和国
	Republic of Uzbekistan

我が国におけるODAの実績						(単位：億円)	*17
項目	年度	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		4.34	6.10	5.81	3.51	5.50	
無償資金協力		18.30	14.02	11.28	9.59	6.75	
有償資金協力		127.00	216.28			155.63	
総額		149.64	236.40	17.09	13.10	167.88	

当該国に対する我が国ODAの実績						(支出純額、単位：百万ドル)	*17
項目	暦年	1995	1996	1997	1998	1999	
技術協力		5.60	4.79	7.70	5.61	5.72	
無償資金協力		10.45	19.07	12.16	7.81	64.97	
有償資金協力			1.44	63.30	89.59	64.97	
総額		16.05	25.29	83.16	103.00	81.62	

OECD 諸国の経済協力実績 (1999 年)						(支出純額、単位：百万ドル)	*18
	贈与 (1) (無償資金協力・ 技術協力)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び民間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)		
二国間援助 (主要供与国)	37.6	75.2	112.8	-33.3	79.5		
1. Japan	16.7	64.9	81.6	-187.7	-106.1		
2. United States	11.3	6.2	17.5	0.0	17.5		
3. Germany	5.8	3.2	9.0	108.5	117.5		
4. France	1.2	0.8	2.0	9.3	11.3		
多国間援助 (主要援助機関)	20.8	0.1	20.9	98.8	119.7		
1. EC			16.1	0.0	16.1		
2. UNDP			1.5	0.0	1.5		
その他			0.2	0.0	0.2		
合計	58.4	75.5	133.9	65.5	199.4		

援助受入窓口機関	*19
技術協力：対外経済関係省	
無償：対外経済関係省	
協力隊：対外経済関係省	

*17 我が国の政府開発援助2000(国際協力推進協会)
 *18 International Development Statistics (CD-ROM) 2001 OECD
 *19 JICA資料

 収 集 資 料 リ ス ト

ウズベキスタン共和国「中等専門教育開発研究所機材整備計画」予備調査

番号	資料の名称	形態	種類	発行機関	発行年
1	HARMONIOUSLY DEVELOPED GENERATION IS THE BASIS OF PROGRESS OF UZBEKISTAN (大統領演説、新教育法、NPPT)	小冊子	オリジナル	—	1998.3
2	Independent Uzbekistan	書籍	オリジナル	—	2001
3	中等専門教育 職業および専門科目 分類表 (ロシア語)	書籍	オリジナル	—	—
4	Report and Recommendation of the President to the Board of Directors on a Proposed Loan and Technical Assistance Grant to the Republic of Uzbekistan for the Senior Secondary Education Project	報告書	コピー	ADB	2000.1
5	Final Report on the Special Assistance for Project Formation (SAPROF) on the Senior Secondary Education Project in the Republic of Uzbekistan: Main Report	報告書	コピー	JBIC	2000.3
6	Final Activity Report	報告書	コピー	Korean Advisory Team/CSSVE	2001.12
7	Assistance to Reforming the System of Education in the Republic of Uzbekistan	書籍	オリジナル	EU	2000
8	Teaching and Program Documentation, Manuals and Methodical Recommendations Developed by TACIS Project	CD-R	オリジナル	EC-TACIS (EDUZ 9803)	2001